



長谷川 真希様

Maki Hasegawa



私は2019年10月にビクトリアアカデミーオブバレエ(VAB)のケリーターナー先生が日本で行われたワークショップとオーディションを受けてお声がけをいただきました。その翌年の1月アドミッション留学センター主催のオーディションツアーに参加した際、VABの生徒みんながそれぞれの目標に向かって、互いに刺激し合いながらレッスンしている様子を見てこの学校ならうまくやっていけると思ってVABに留学することを決めました。

今はバレエ学校と現地の高校に通っています。子供の頃からいつか海外でバレエを学んでみたいと思っていました。当時私はコンクールに出て、たくさんの受賞歴がないとバレエ留学の機会を得ることはないと思っていました。私はコンクールでの受賞歴がほとんどなく、怪我をして踊れない時期もあったので留学の話は遠ざかっていました。怪我が治り進路を考えているときに母の



勧めでVABのオーディションに参加することにしました。ケリー先生の教え方がとてもあっていて、体に無理のない踊り方や具体的にこういう風に動かしたら怪我をしにくい体になるなど、怪我の経験がある私はすごく気に入りました。そして先生に入学許可をいただくことができました。

コロナ禍のせいで出発までの長い期間オンラインレッスンが続きましたが、先生たちはオンラインだからと言って妥協することなくゲストティーチャーのレッスンを設けてくれたり、バレエだけでなくメンタルを保てる工夫をしてくれたりしました。VABは大きいバレエ学校ではない分、先生たちの目が生徒一人一人に行き届いているので安心です。先生が毎回レッスン前に体の調子を聞いてくれて、みんなのその日の調子によって「今日のレッスンは表現力を重視しよう!」というようにテーマを決めてくれます。毎回のテーマにそって、たくさんのことを吸収しようという気持ちになれます。

現地の高校は日本と全然違ってみんな勉強しに来るといよりは、自分の学びたいことをしに来ている感じがしてとてもリラックスしています。校則が厳しくない分みんなそれぞれの勉強が集中できる環境が整

い、勉強することにあまりストレスを感じません。しかし一番苦勞しているのが、先生から課題を待つのではなく自分から計画してやっけないといけないのが大変です。でも先生はどんなことでも相談に乗ってくれるし、相談を重ねることによって英語も上達するのでとてもいいと思います。

留学前に私が一番不安だったのはホームステイです。過ごす時間が一番長いのでなじめないと気持ちが疲れて大変だろうなと思っていました。私のホストはメキシコ人家庭で温かく迎え入れてくれて、私のぐちゃぐちゃな英語でもしっかりと聞いてくれます。メキシコ料理も楽しめます。毎日バレエ以外に経験できることが沢山あるのでとても充実しています。

カナダに来てから自分の殻を少し割ることができた気がします。カナダの人々は他人を気遣い、また自分の意見をすごく大切にするので自分も間違ってもいいから何か発言していかなくちやという気持ちになって、自分の意見を言えるようになってきました。主張の強い人たちにのまれないように自分をしっかりと表現できるようにこれからも頑張っていきたいと思います。